

双葉西小だより

令和4年 2月21日 文責 学校長 平塚 克人



地域の感染レベル3に対応しながら3学期後半へ！

2月も半ばを過ぎましたが、依然、新型コロナウイルス感染症対策を緩めるような状況になっていません。山梨県でも1月23日に発表された「新型コロナウイルス感染症拡大防止への臨時特別協力要請」が、今月8日には感染拡大リスクを確実に低減させるための効果的な対策としまして、2月20日まで延期され、更に27日まで再延期されました。市内小中学校でも分散登校は今月10日（木）で終了はしましたが、国・県・市からの指導に基づきまして教育活動を行っています《右＝「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準【文部科学省：学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」（2021.11.22 Ver.7）～より引用】、下＝県からの協力要請より引用》。

保護者の皆様からも、「もう、習い事には行かせても良いのでしょうか。」「少しのどの痛みでも学校に迎えに行かなければならないのでしょうか。」等の声が寄せられています。学校としましては四角四面のようなお答えしかできないことが大変心苦しいのですが、どこの学校でも、感染児童の判明がまだまだ相次いでいます。したがって、学校独自の判断で、「どうぞ習い事に行ってください。」とか「多少のどの痛みがあっても授業を受けられますよ。」とは決して言えないのが現状です。本校でも、臨時休業や学年・学級閉鎖がありましたので、これ以上授業日を減らすことにより、未履修のまま今年度を終えることを一番危惧しています。

「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い 教科活動	部活動 (自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2m程度(最低1m)	行わない	個人や少人数での感染リスクの低い活動で短時間での活動に限定
レベル2	1mを目安に学級内で最大限の間隔を取ること	感染リスクの低い活動から徐々に実施 ↑感染リスクの高い活動を停止 ↓取組範囲を拡大	感染リスクの低い活動から徐々に実施し、教師等が活動状況の確認を徹底
レベル1	1mを目安に学級内で最大限の間隔を取ること	適切な感染対策を行った上で実施	十分な感染対策を行った上で実施

学校では、呼気が荒くなり体が近距離で触れあう遊びの制限、同学年で遊ぶことの徹底、給食での前向き黙食等は引き続き子供たちに指導していきます。また、3月からの最終下校時刻につきましても、現在の感染状況等様々な観点から検討中です。

県の臨時特別協力要請の再延期が決定しましたので、放課後・休日の不要不急の外出を控えていただくことや、習い事・スポ少・違う学校の児童との交流等を控えていただくことも、県の協力要請終了まで継続していきます。子供たちやご家族の皆様には、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

通常の3学期ですと、授業参観で子供たちの1年間の成長を保護者の皆様にご覧いただいたり、5・6年生は冬にしかできないスキー教室に行ったりしていたのですが、全て断念しなければなりません。地域の感染レベル3の中ではありますが、残り1ヶ月半の中で子供たちが今年1年間の成長を実感できるような瞬間や場面に出会えることで、新年度への希望や期待がふくらみます。そのために、「6年生を送る会」や「卒業式」を大きな柱として取り組みを進めていきます。

STOP COVID-19 新型コロナウイルス感染拡大防止への協力要請について (県民の皆様へのお願い)

感染拡大防止を図るため、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、感染拡大防止対策への協力を要請します(期間:~3月31日。一部は~2月20,27日)。感染力の強い変異株が拡大する中、要請について一層のご協力をお願いします。

- 日常生活での身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いなどの基本的な感染対策の徹底、十分な換気(30分間に1回程度)を行う。**
- 人混みへの外出、密閉・密集・密接の「三つの密」のある場への外出、基本的な感染防止対策が行われていない施設の利用を自粛する。**
- 発熱の有無に関わらず、喉の痛みや咳など、少しでも体調が悪い場合には、できる限り早くかかりつけ医や医療機関で受診する。**
- 感染リスクの高まる会食(同一グループの同一テーブルでの5人以上)は、自粛する(2/20まで)。※感染対策実施については県が別途お知らせいたします。**
- 基本的な対策が行われていない大人数の会食は自粛する。対策不実施施設は避け、グリーンゾーン認証施設を、ルールを守って利用する。**
- COCOA**
感染者と接触した可能性がわかるスマートフォンの接触確認アプリ「COCOA」を利用する。
※App Store、Google Playで接触確認アプリをダウンロード。
- 外出 不要不急?**
運動、通学、通院、生活必需品の買い出し、ワクチン接種などを除き、外出や他の市町村等への移動は、県からの感染状況等の情報によく把握したうえで、慎重に判断して行動(2/20まで)。
- まん延防止等重点措置の対象区域の都道府県への移動は、運動、通学、通院など、やむを得ない事情がある場合を除き自粛(2/27まで)。**
その他の都道府県も含め、県外移動の際は、ワクチン接種または検査による陰性確認を受ける(健康上の理由等によりワクチン接種を受けられない場合)など、安全性を担保したうえで行動する。(県外在住の方も、本県へ来訪する際は、同様の対応をお願いします)

感染症拡大防止にご協力ください

※ダウンロード要請内容詳細【この目録まで】 (R4.2月作成)

全校児童のがんばりを感じた児童総会

14日(月)に今年度まとめの児童総会が行われました。例年ですと体育館に3年生以上が集まっての話し合いになるのですが、大人数で一堂に会することができませんので、各教室でのオンラインによる実施となりました。このオンライン児童総会を迎えるまで、児童会担当が中心になって、感染症拡大防止を考慮しての準備となりました。話し合いはクラス全体では行わず、学級会長・副会長・書記などの代表児童で意見を集約してまとめ、児童会本部への提出前にクラス全体へ提出内容を伝えるなどの確認をしてから、学級の総意として意見を提出しました。



モニターの進行や提案者、発言者を真剣に見つめる各学級の子供たち



毎朝の挨拶運動後のミーティング

各学級から提出された意見を見たり児童会本部や各学級代表の発言を聞いたりしていると、今年度も全校児童のがんばりをひしひしと感じました。

できる限り相手の名前を添えて呼びかけたあいさつ運動、続けることで習慣化している身の回りや心を整える運動、様々な形態で取り組んだ縦割り活動、そして5・6年生がコツコツと働いた委員会活動について等、児童会本部や6年生を中心に、いかに全校児童が同じ目標に向かってがんばってきたかが伝わってきました。この双葉西小の良き伝統が来年度以降も続いていきますよう、心から願っています。

できる限り相手の名前を添えて呼びかけたあいさつ運動、続けることで習慣化している身の回りや心を整える運動、様々な形態で取り組んだ縦割り活動、そして5・6年生がコツコツと働いた委員会活動について等、児童会本部や6年生を中心に、いかに全校児童が同じ目標に向かってがんばってきたかが伝わってきました。この双葉西小の良き伝統が来年度以降も続いていきますよう、心から願っています。



雪かき, ありがとうございます。

今月10日(木)は今シーズン初めての大雪になりました。この日は分散登校明け初日でしたので、久々に全員の友だちと再会できる喜びと、雪で遊ぶことができるうれしさで、子供たちも朝から大変気持ちが高ぶっている様子でした。登校時には左の画像のように、既にかかなりの降雪がありました。それでも子供たちは、慣れない雪道でしたが、玄関に向

かって歩を進めていました。

さて、子供たちの登校時間からさかのぼること1時間半程。午前6時30分頃でした。校庭南側の歩道橋上で降りしきる雪の中、1人で歩道橋の雪かきをしてくださっている女性がいるではありませんか。私もすぐに道具を持って行きましたが、雪の中を登校する子供たちが滑って怪我をしないように早めに雪かきをしていたとのこと。私が行ったときには、既に歩道橋の半分以上の雪かきが終わっていました。話の中で、女性にはお孫さんがいらっしゃるということが分かりましたが、降りしきる雪の冷たい中、子供たちのためを思っの行動に頭が下がる思いでした。

また、一斉下校に付き添って行ったときも、歩道まできれいに雪がかかっている場所を複数目にしました。自宅の前は車道のみということもありますが、私などはやっても自分の車の出入りができるころまでしかやりませんので、この学区の方々が、いかに他者を思いやる気持ちを大切にしているかがかがいかい知ることができました。おかげさまで下校の際、雪かきのしてある歩道では、ほとんど雪のない歩道を滑らずに安心して子供たちも歩いていました。

◇◇◇ ICT 教育推進事業実践授業 ◇◇◇

2年生活科「うごく うごく わたしのおもちゃ」



タブレット端末で前回までに撮影した自分のおもちゃの動画を見て、それをヒントにもっとよく動くおもちゃにするための改良ポイントを見つけようと一生懸命に工夫していました。



5年総合「米作りを通して、双葉をみつめよう」



自分たちの地区の米作りについて事前に調べたことを玉穂南小学校の友だちとタブレット端末を通して伝え合いました。大変なごやかな中、この学習を通して新たな発見がありました。

